

川島パトロール12月号

令和7年12月
各務原警察署
川島駐在所
058-383-0110



STOP! 山岳遭難 知っておきたい 4つの危険

① 道迷い



- 低山は、作業道、枝道などが多くコースを誤ることがあります。
また、雪や落葉で登山道が不明瞭になっていたり、天候悪化によって視界不良になって道に迷いやすくなります。

③ 転倒・滑落



- ちょっとした突起につまずいたり濡れた岩などで滑って転倒や滑落して怪我を負うことがあります。
特に下山時は足腰に疲労がたまり危険性が高まります。

登山前の点検

- 身体のコンディション ● 計画立案
- 装備のチェック ● 登山計画の共有



② 疲労・低体温症



- 悪天候（雪、雨、強風など）によって体力・体温が奪われ、身体にダメージを及ぼします。
天候に合わせた装備と無理をしない行動を！

④ 雪崩



- 雪崩は、積雪が適当にあり、傾斜が緩くても、木が生えていても条件さえ揃えば発生します。
雪崩ピーコン、プローブ、ショベルを持参し、使いこなせる訓練をするなど、備えが必要です。

年末年始の雑踏事故防止

- 混み合い時間帯を避ける
- 現場係員の案内誘導に従う
- 人混みの中で不用意に立ち止まらない
- 小さなお子さんと手をつないで行動する
- 凍結による事故防止

無事故で明るい新年をお迎えください・・・

スマホの緊急通報機能による110番誤発信が急増中！

- 起床時、アラームを消すときに誤って緊急通報を押してしまう。
- ポケットやバッグ内で電源（サイド）ボタンが連続で押下されてしまう。
- スマホを落下させ衝撃で110番にかかってしまう。など



【間違って110番通報してしまったときは？】

★ 電話を切斷しない！

受理した警察官に「誤操作でかけてしまった」と伝えてください。

★ 電話を切斷してしまっても、折り返しの電話に応答を！

110番を受けた警察官は、通報者の安全を確認できるまで何度も電話をします。折り返しの電話には必ず応答してください。